

てきました。高齢者世帯や1人世帯も増えてきました。やはり年齢とともに身のこなしも鈍くなり、いざという時にはとても不安であ



楽しい 夏祭り

ることは私ばかりではないと思います。

平成22年4月1日より住宅用火災警報機の設置が義務付けられましたが、あと約1年半後に迫ってきました。ポスターや回覧でお知らせしてありますが、自分のために自分でできるよい機会なので、早めに備えるように町内にPRしていきたいと思います。

秋には、本所防災館での研修会を予定していますが、この機会を利用して少しずつでも浸透していければと思います。参加してくださる方は、どちらかと言えば、高

齢者の方が多いのですが、よい機会だと思えますので、微力ながらPRしていきたいと思えます。

住み続けられる団地に

加美平団地自治会 西川雅博

私たちの住まいは、市の北、羽村市と接するところに位置する、東京都住宅供給公社の団地で、1032所帯で構成していますが、そのまとめを自治会が担っています。住民が少しでも住みやすくなるための意識向上と環境整備に努めています。

「団地を子どもたちのふるさとに」「いつまでも住み続けられる団地に」が願いです。

住民の親睦を考えて夏祭り、青空コンサート、防災訓練と、多様な催しをしています。特に夏祭りは創立40周年記念のみこしを中心に、焼き鳥、ビール、焼きそば、おもちゃなどの出店のほか、スイカ割り、ビンゴゲームが人気です。幼児向けのお菓子みこしもあり、帰りに子どもたちがお菓子をもつて帰ります。今年、地域の第六小学校の金管バンドがデビューし、かわいい演奏をしました。また、初夏の頃行われる第二中学校吹奏

楽部の青空コンサートは、伝統ある行事のひとつで、新入生も加わり楽しく明るい選曲で毎年観客を楽しませてくれます。

このように、親睦を深めつつ、高齢化や頻繁に起こる災害と、自治会は住民が頼りになる組織として、身近なところから活動できるように、常日頃から目配り、気配りをしていかなければならないと考えています。

しかし、現実が高齢化で役員も不足がちであり辛いところです。力を貸してくださる方が増えるように努力もしていかなければなりません。

私たちも含めて皆が元気になるには、市、地域に魅力あるものを見つけ、活き活きしたまちづくりが必要です。私たちもできるだけその活動に参加して、盛り上げていきたいと考えています。



お菓子みこし

〈編集後記〉

お読みいただきありがとうございます。

8月31日(日)に総合防災訓練に参加しました。震災時等災害図上訓練に取り組んでみて、理解しているつもりでも、分からないことがいかに多いか痛感しました。防災上重要な施設はまだしも、地域防災上有効な人材(医療・消防関係者等)、また災害時に支援を必要とする方の情報が町会には不足しています。

プライバシーの問題もありますが、地域の状況・活動の現状を見直さなければと思います。

編集委員長
編集委員

平成20年10月
森井常貴
持田 洸
田中 守
千葉 進
井上賢司